

猿橋
小学校

瑛玖良

瑛玖良校は明治期における猿橋小の旧名。切磋琢磨の意が込められている。

ラグビーが重んずる価値

校長 磯部 裕之

ラグビーのワールドカップがフランス各地で行われています。毎試合、熱い戦いを繰り広げている日本代表チームの中にセミシ・マシレワという選手がいます。ポジションはFB（フルバック）。フィジー生まれのマシレワ選手は、母国のフィジー代表からも関心を寄せられる中で、それでも日本の代表になることを選んだそうです。その最大の理由は日本文化にある「尊敬の念」や「誠実な心」を自分の家族や子どもたちに伝えていきたいと思ったから。日本のよさを肌で感じたフィジー生まれのラグーマンが、そんな純粋な理由で日本代表入りを決断していたなんて、とうれしく思いました。

※ 残念ながら、マシレワ選手は9月17日のイングランド戦で怪我をし、代表チームを離れることになりました。

そんな中、元ラグビー日本代表として活躍した大野 均さんという方の記事を目にしました。大野さんは、次のようにコメントしています。

■ ラグビーという競技の魅力は「多様性」にあるんです。ひとつは、競技自体のもつ多様性。15人対15人で戦い、ポジションも10あり、役割もそれぞれに全く違うこと。もうひとつは、代表選手の国籍も多様なこと。（代表選手になるには、その国の国籍をもっていなくても、居住年数などの条件をクリアすれば代表選手になれるとの事です）そして、いざ、自分が代表となれば、たとえそれが母国でなかったとしても、代表ジャージに誇りを持ち、勝利を目指すんです。

■ ラグビーが重んじる価値観は、「ラグビー憲章」にも表れています。

「品位」「尊重」「結束」「情熱」「規律」の5つ。ラグビーの試合でも大切にされています。

■ 「ラグビーから得た経験で何が一番貴重ですか」との質問に対しては、

「『多様性の尊重』です」「世の中には、いろんな人がいて当たり前なんだよ、自分と考えが違う人がいても、そういう人がいるから世の中は回っているんだと思えるようになりました。自分や周りの多様性に気付き認め合うことで、人生はより豊かになり、誰もが生きやすい社会を実現する第一歩になるのではないのでしょうか。」と大野さんはインタビューに答えています。

「自分や周りの多様性に気付き、認め合う」…ラグビーというスポーツが大切にしている価値は、私たちの日常生活や学校生活でも大切にしていかなければならない視点や考え方にあふれていると感じました。

スポーツの秋、芸術の秋、読書の秋、いよいよ秋本番を迎えます。お互いの良さや違いを認め合いながら、子どもたちにとって実りの秋となるように努めてまいります。